

証券コード：9412

株式会社スカパーJSATホールディングス



2024年3月期 第1四半期

決算説明会

2023年8月2日

将来の見通しに関する記述

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク

2024年3月期 第1四半期連結業績概要

連結業績概況

- 連結業績は前年同期比で増収増益
- 宇宙事業はグローバル・モバイル分野、国内衛星ビジネス分野とも堅調に推移
- メディア事業は累計加入件数減少に伴う減収も、コストコントロールにより利益は前年同期比同水準

(百万円)

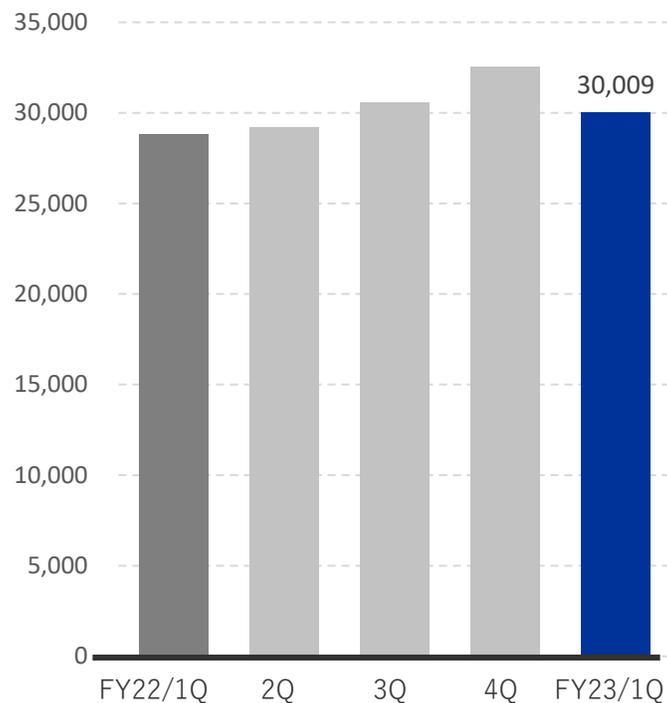
	2022年度 1Q	2023年度 1Q	増減率	2023年度 通期業績予想	通期予想 進捗率
営業収益	28,806	30,009	+ 4.2%	121,000	24.8%
営業利益	5,551	6,919	+ 24.6%	22,500	30.8%
経常利益	5,924	7,279	+ 22.9%	22,000	33.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,033	4,982	+ 23.5%	15,000	33.2%
EBITDA *	11,509	12,638	+ 9.8%	43,600	29.0%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息。

四半期連結業績推移 (FY2022/1Q – FY2023/1Q)

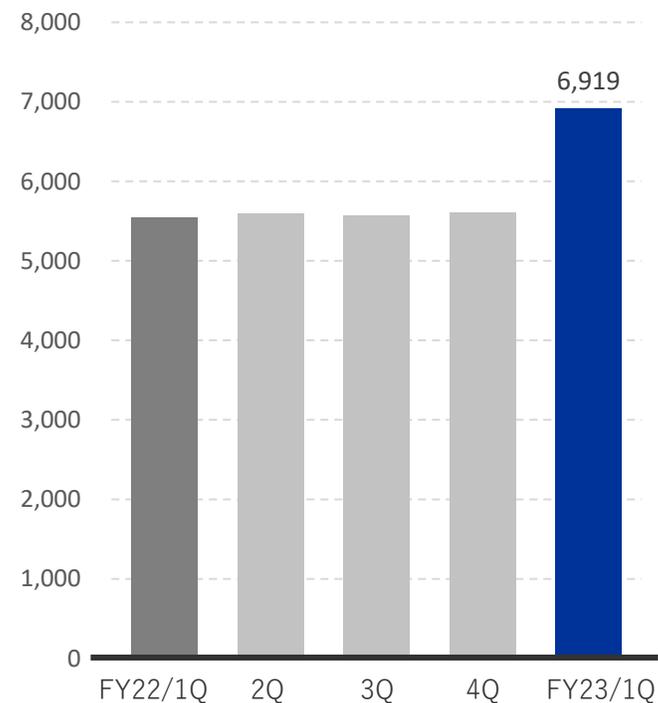
営業収益

(百万円)



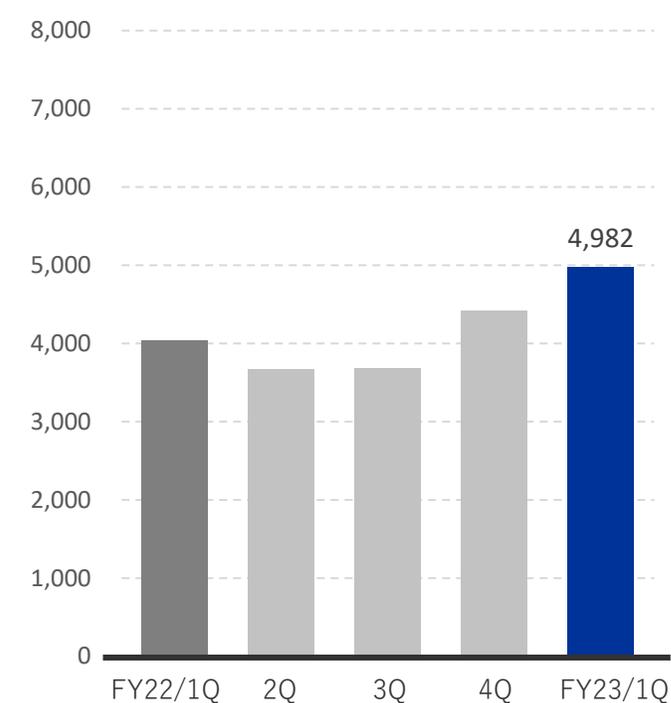
営業利益

(百万円)



四半期純利益

(百万円)



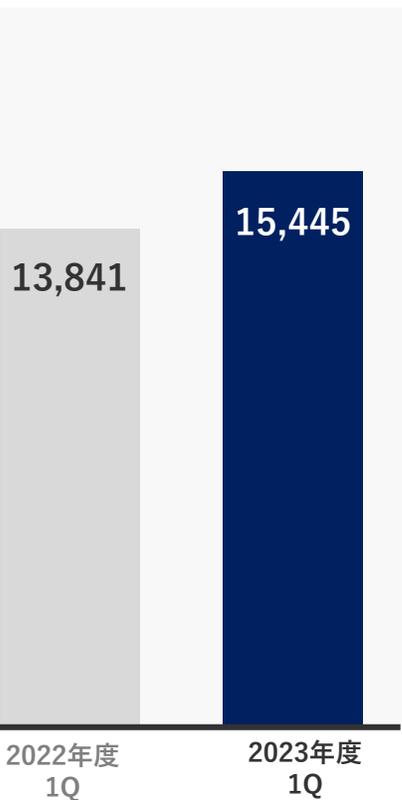
セグメント別業績概況：宇宙事業



- JCSAT-1C、Horizons 3e利用拡大や、国内における機器販売、回線利用の拡大による増収
- 増収と減価償却費の減少等により増益

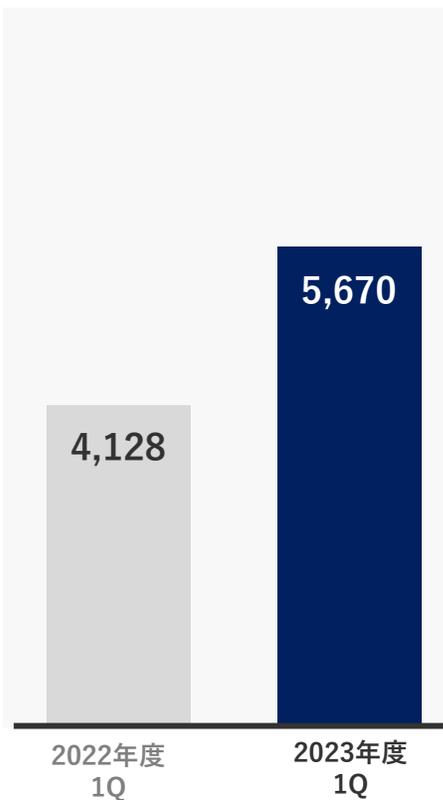
営業収益

(百万円)



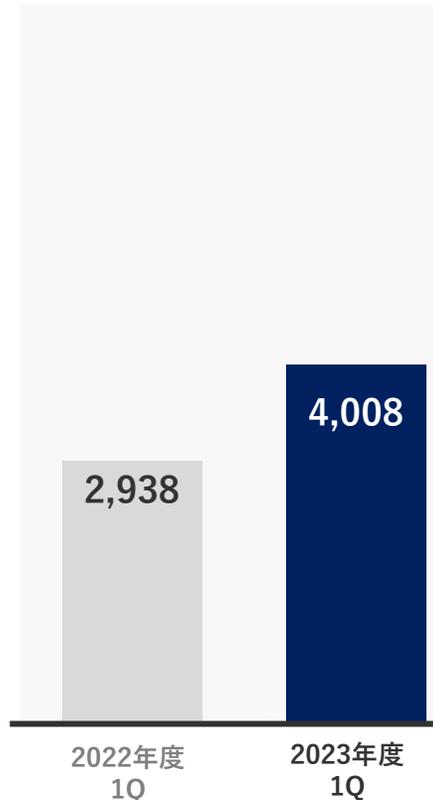
営業利益

(百万円)



セグメント利益*

(百万円)



主な増減要因（前年同期比）

- **営業収益 1 5 4 億円（+1 6 億円）****
 - ・ グローバル・モバイル分野：+9 億円
 - ・ 国内衛星ビジネス分野における機器販売及び回線利用の増加：+8 億円
 - ・ 放送トラポン収入の減少：△1 億円
- **営業費用 9 8 億円（+1 億円）****
 - ・ 減価償却費の減少：△3 億円
 - ・ 衛星事業原価等の増加：+4 億円
- **営業利益 5 7 億円（+1 5 億円）**
- **セグメント利益 4 0 億円（+1 1 億円）**

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む



セグメント別業績概況：メディア事業

- 放送の減収に対して、広告宣伝費の効率化やBSスカパー / 費用の削減等によるコストコントロールを実施。
- FTTH事業収入等の増収も寄与し、利益は前年同期比同水準を維持

営業収益

(百万円)

2022年度 1Q	2023年度 1Q
17,463	16,965

営業利益

(百万円)

2022年度 1Q	2023年度 1Q
1,598	1,453

セグメント利益*

(百万円)

2022年度 1Q	2023年度 1Q
1,159	1,081

主な増減要因（前年同期比）

- 営業収益 **170億円** (△5億円) **
 - ・ 視聴料・業務手数料・基本料収入の減少：△7億円
 - ・ FTTH事業収入の増加：+1億円
 - ・ その他：+1億円
- 営業費用 **155億円** (△4億円) **
 - ・ 広告宣伝・販促費の減少：△2億円
 - ・ その他：△2億円
- 営業利益 **15億円** (△1億円)
- セグメント利益 **11億円** (△1億円)

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

2030年に向けて

新領域に2,000億円以上の投資を予定

SPACE

新技術の活用と
事業領域拡大

1,500億円
以上

既存
衛星通信 →

- Universal NTN
- 光データ中継
- ビジネスインテリジェンス

2030年セグメント利益目標 210億円

MEDIA

映像体験を超える
新領域への進出

500億円
以上

衛星放送
/FTTH →

- コネクテッドTV
- メディアソリューション
- コンテンツデータベース
- リアルサービス

2030年セグメント利益目標 50億円

サステナブルな成長
2030年に当期純利益250億円超を目指す

社会と会社の持続的な成長を目指す

ミッション

サステナビリティ方針

Space for your Smile

経済的価値

2030年目標 当期純利益 250億円超

社会的価値

社会の安心・安全を守り、
ワクワクする未来の創造に貢献する

事業ビジョン

宇宙事業

すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワーク
及び地球規模のデータ収集ネットワークを構築し
超スマート社会の実現に貢献

メディア事業

人と人、企業、社会をつなぐプラットフォームとして
多様で創造性豊かな社会の実現に貢献

経営戦略

“変革”による価値の創出

新領域事業の展開

既存事業の
収益性強化

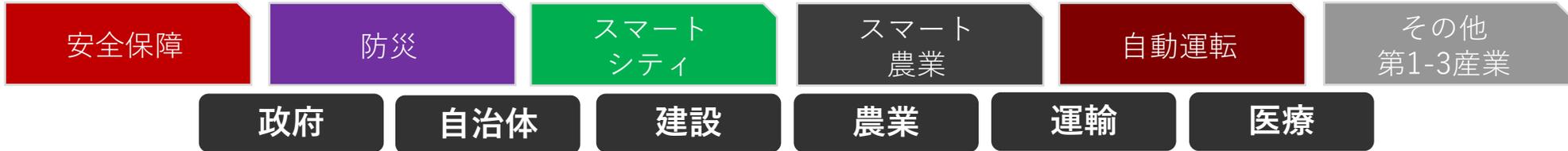
人的資本強化

経営基盤拡充

すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワーク及び地球規模のデータ収集ネットワークを構築し、超スマート社会の実現に貢献する。



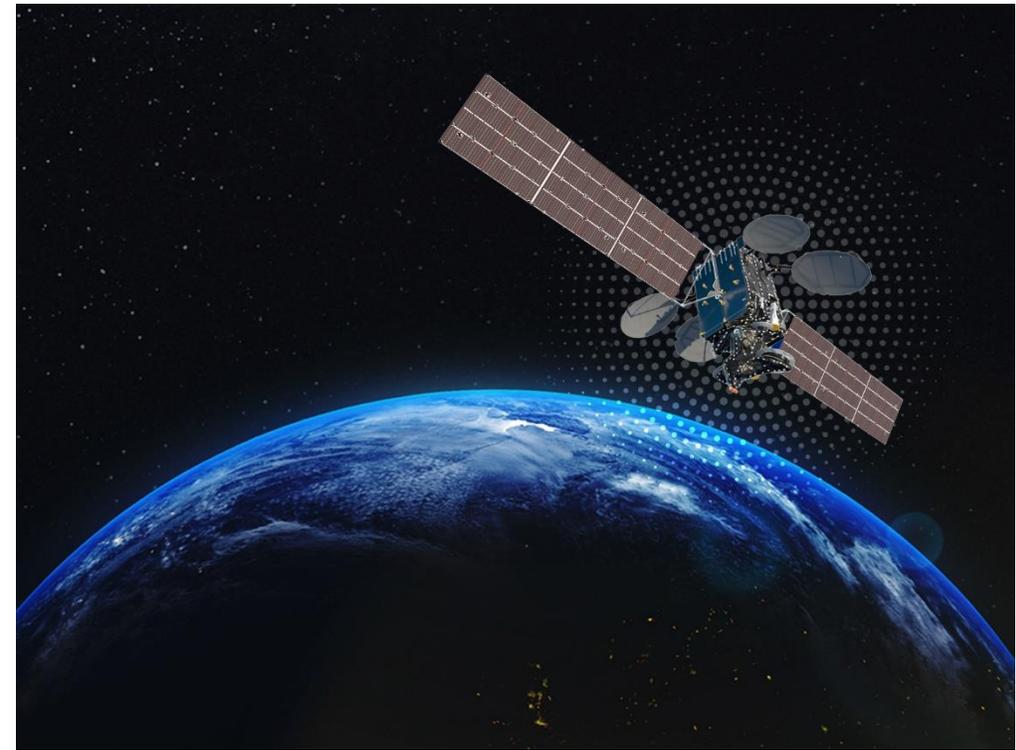
2030年セグメント利益目標
210億円



2023年8月3日（日本時間）、Horizons-4打ち上げ 北米・太平洋地域の通信需要増加に対応

- 打ち上げ場所： 米国フロリダ州ケープ・カナベラル
- ロケット： Falcon-9（SpaceX社）
- 衛星メーカー： Maxar社
- 衛星バス： Maxar 1300 シリーズ
- 衛星の主要諸元：
 - （周波数）Ku帯
 - （主要カバレッジ）北米及び太平洋
- 予定軌道位置： 西経127度

通信衛星Horizons-4のイメージ写真



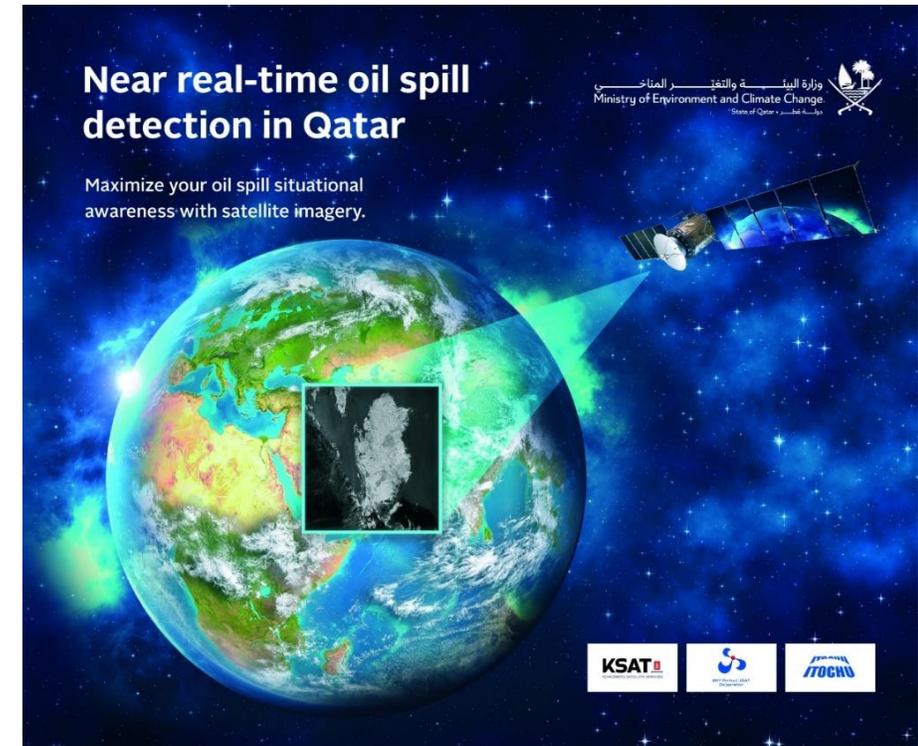
Credit: Intelsat

スカパーJSATと伊藤忠商事 カタール環境省向けオイル漏れ検知サービス提供開始

- SAR衛星画像情報とAIS情報を組合せて解析
オイル漏れを起こした船舶を特定
- タンカー航路海域周辺国、石油関連企業等へサービス展開
海洋汚染・海上災害の防止に貢献

AIS：船舶自動識別装置

SAR：合成開口レーダー（Synthetic Aperture Radar）
地表にマイクロ波を照射し、反射して返ってきた信号を分析することにより、
地表面の情報を得るレーダー。



カタール環境省向けオイル漏れ検知サービスイメージ図

2023年6月、小型SAR衛星QPS-SAR 6号機「アマテル-III」打ち上げ 日本最高分解能46cmの画像取得に成功



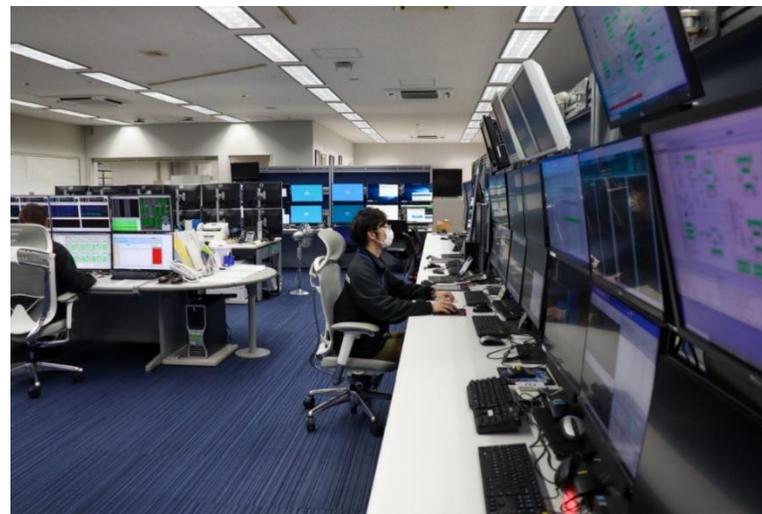
分解能46cm相当で処理した小型SAR衛星6号機「アマテル-III」によるSAR画像 <横浜市>

小型SAR衛星運用業務に係る協業開始

- 技術・運用面における連携強化
2023年7月、小型SAR衛星運用業務に係る契約を締結
- 日本企業発の衛星コンステレーションの早期実現をサポート



スカパーJSAT横浜衛星管制センターの外観図



スカパーJSAT横浜衛星管制センター内の管制室

衛星コンステレーション：複数の人工衛星によって、高頻度な地球観測を可能とするシステム。コンステレーションは「星座」の意。

宇宙統合コンピューティング・ネットワークの実現に向けて



宇宙データセンター

©Skyloom Global Corporation

Skyloom
協業

2023.01
契約締結

衛星製造
事業開発

初号機
打ち上げ

サービス開始
・アジア上空

2・3号機
打ち上げ

グローバルカバレッジ
・宇宙コンピューティング機能
搭載

後継機
追加衛星
打ち上げ

キャパシティ増強と
コンピューティング
機能拡張

2023.03
採択

経済安全保障重要技術育成プログラム (K Program)
・LEO-LEO、LEO-GEO衛星間の光通信機能・性能実証

会社設立

宇宙統合
コンピューティング
ネットワーク

宇宙RAN

©AALTO HAPS Ltd.

AALTO
協業

HAPS海外実証

HAPS国内実証

万博
デモ

サービス開始
・国内離島等

事業拡大

- ・HAPS追加投入
- ・エリア拡大
- ・機能拡大

全国展開

- ・アジア展開も視野

HAPS技術開発・法制度化

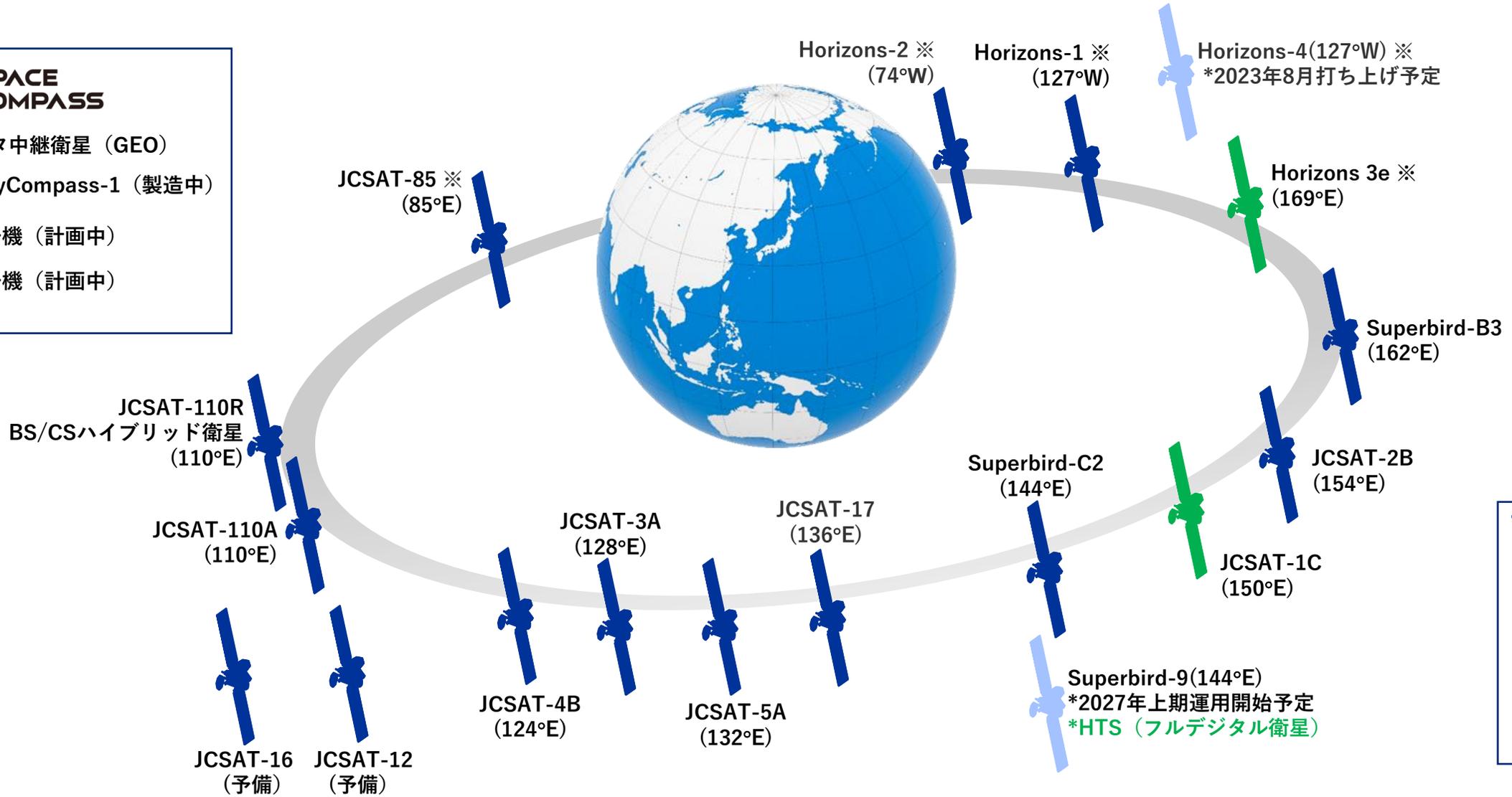
高度化(高速・大容量化) 光通信機能

北米上空からインド洋上空まで 計16機 の衛星を保有

SPACE COMPASS

光データ中継衛星 (GEO)

- SkyCompass-1 (製造中)
- 2号機 (計画中)
- 3号機 (計画中)



- GEO : 静止衛星
- GEO (HTS)
- 打ち上げ予定
- ※ Intelsat社との共同衛星

2023年3月末時点の契約バックログは2,309億円です。

メディア事業ビジョン

人と人、企業、社会をつなぐプラットフォームとして
多様で創造性豊かな社会の実現に貢献する

「放送+配信+リアル」でファンの体験を拡張

コネクテッドTV

ドングル/広告PF構築

多チャンネル/基幹商品/ライブ・録画

放送

ライブ・VOD
ニッチジャンル

配信

イベント
グッズ/ツアー

リアル

リアル体験

ファンの体験

メディア
ソリューション

FTTH再送信

コールセンター

事業基盤

東京メディアセンター

メディア
HUBクラウド

コンテンツ
データベース

2030年
セグメント
利益目標

50億円

ブンデスジャパンツアー開催

MEDIA

リアル

放送/配信



- ・ 2023年7月29日、国立競技場に4.5万人動員
- ・ 放送：スポーツライブ+/BS11で放送
- ・ 配信：SPOOX、スカパー！SOCCERアプリ、スカパー！番組配信、AbemaTV、BS11+で配信
- ・ ツアー公式グッズを会場/スカパー！ECサイト/
期間限定「FCバイエルン・ミュンヘンオフィシャル POPUP ストア」で販売

9月のスカパー！はライブ特集

ラグビーワールドカップ2023 フランス大会（9/8開幕）
J SPORTSで全48試合を生中継（放送・番組配信）



Photo by Yuuri Tanimoto

その他にもプロ野球、サッカー、F1、音楽ライブなど
スポーツも！エンタメも！
充実のライブ番組をTVでもスマホでもお楽しみいただけます

10～11月は、スカパー！秋口施策「熱狂フェア」

スカパー！ 熱狂フェア



■TVでもスマホでも
楽しめる！
アーティスト
ライブ続々登場！

※バーチャルファンイベント会場



■バーチャル空間を活用した
ファンイベントの開催



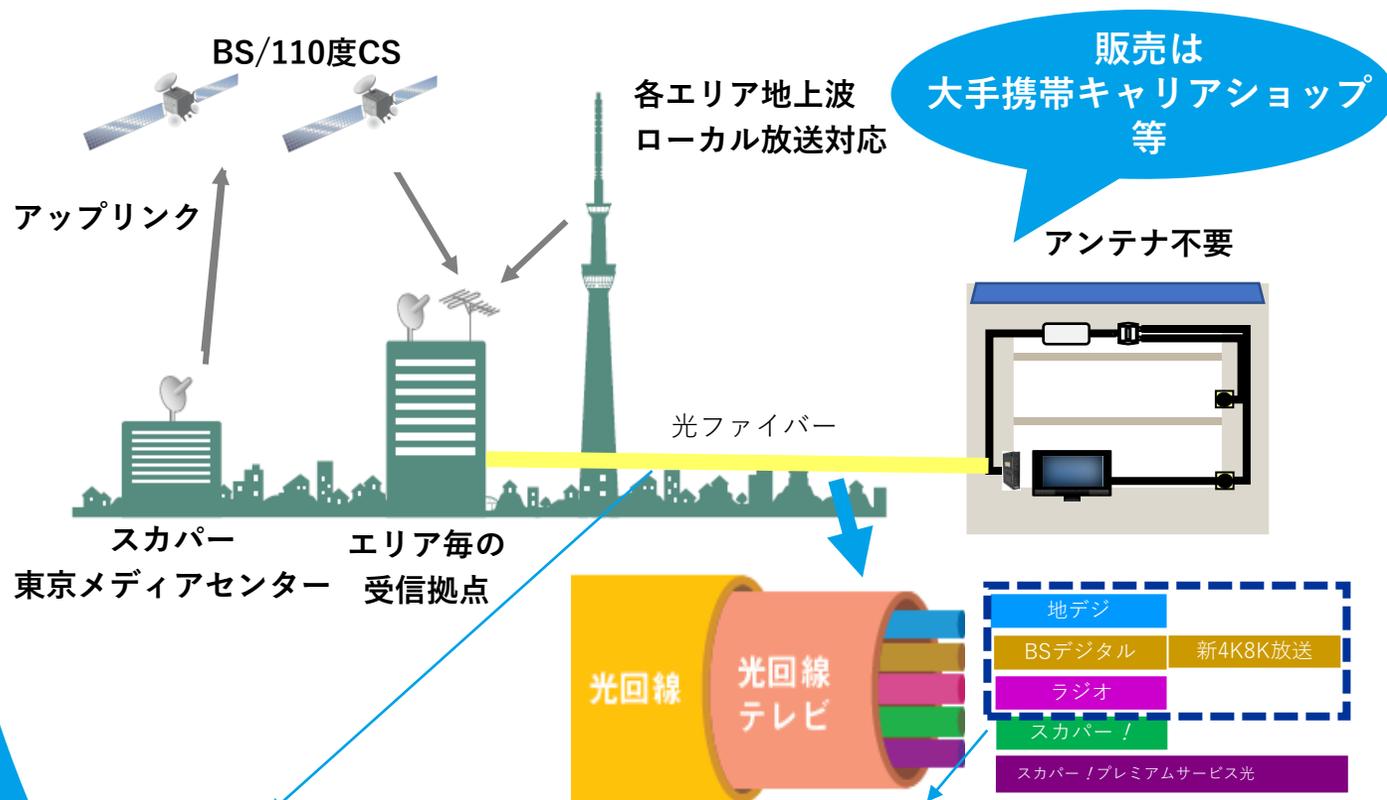
■AR技術活用での撮影会

※写真はイメージです

- ・放送に加えて、番組配信・SPOOXでTVでもスマホでも楽しめる番組を拡充
- ・リアルイベントのみならず、AR技術の活用やバーチャル空間で楽しめるファンイベントも開催予定
- ・スカパー！ECサイト「スカパー！グッズモール」ではオリジナルグッズも提供・販売
- ・プレゼントキャンペーンも企画予定

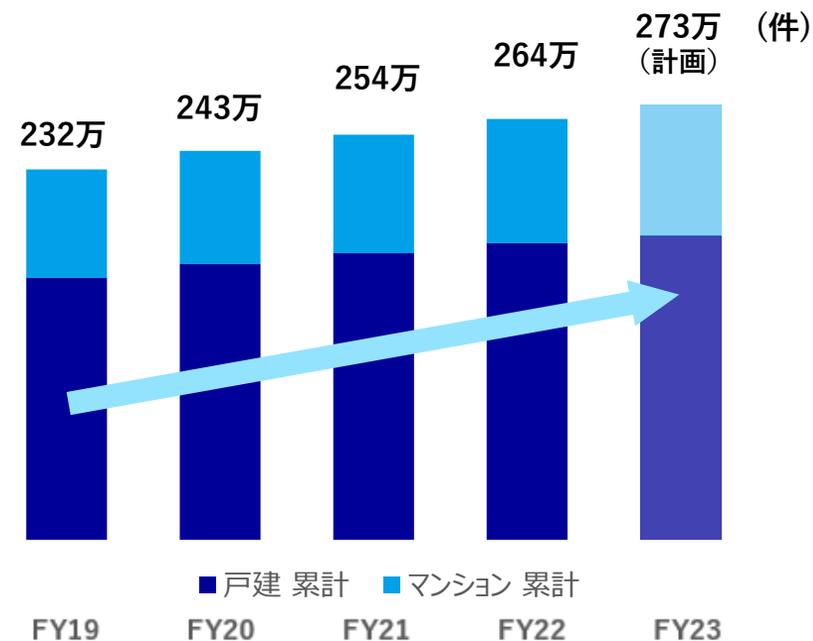
FTTH事業(光再送信サービス)とは

- ・戸建/マンション向けに光回線サービス上で地上波・BS・CS放送等を再送信
- ・提供エリアの拡大と接続世帯数の増加に伴い、FTTH事業収入は堅調に推移



提供可能世帯数：4,280万世帯

接続世帯数推移



費用：
通信事業者への回線料等

月額利用料：825円

テレビ視聴サービス330円/月 (スカパーJSAT提供)
+ 光回線テレビ伝送サービス495円/月 (コラゴ事業者提供)
※料金は戸建ての場合 (税込)

FTTHパススルー 提携CATV局の拡大

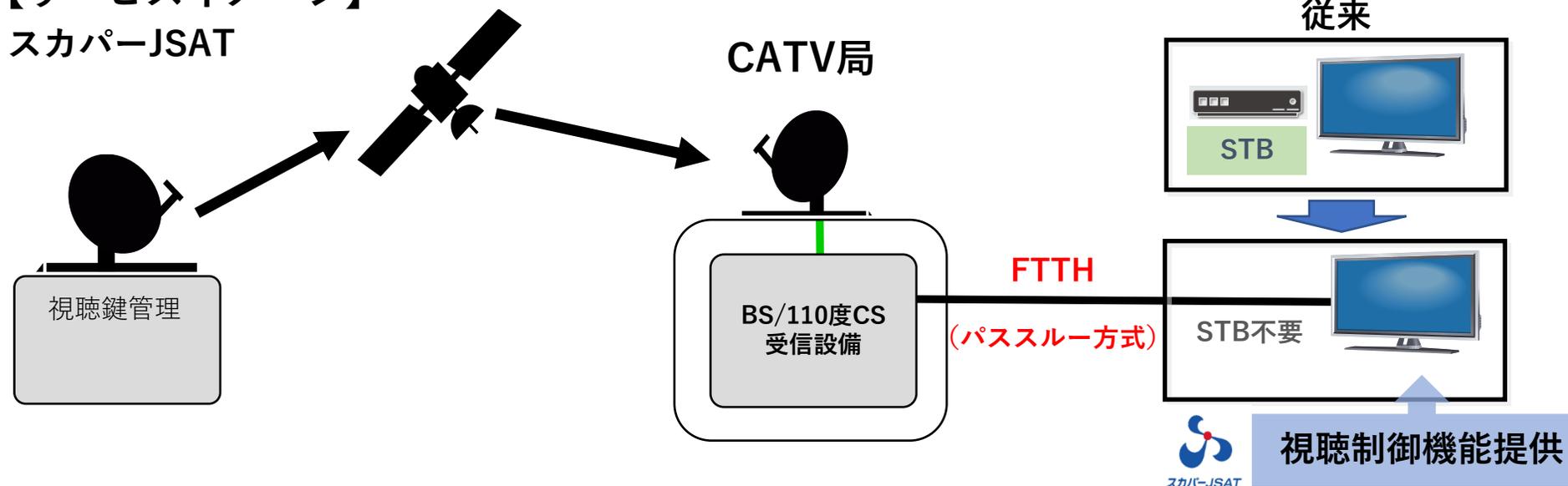
衛星通信と視聴鍵信号管理技術を使ってケーブルテレビ事業者の課題を解決
2023年7月現在、9局の導入が決定。順次拡大中。

<主な導入メリット>

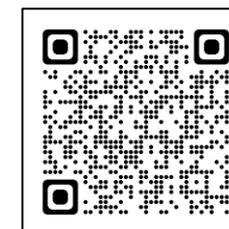
- ・ ACAS対応への設備投資コスト **削減**
- ・ 多チャンネル放送サービス **継続**
- ・ お客様宅のSTB **不要** 等

【サービスイメージ】

スカパーJSAT



<サービスの詳細はこちら>



神戸アリーナプロジェクトへの参画

2025年開業予定の「神戸アリーナ（仮称）」の運営会社である
（株）One Bright KOBEと協創パートナーシップ契約を締結



スポーツイベント、音楽コンサート、国際会議等での利用に向けた多目的アリーナ
魅力あるコンテンツの共同開発や、災害時の通信衛星を介したバックアップ回線の提供を推進

FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に初選定（2023年6月）

- GPIFが採用するESG指数のうち、「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」「Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数」につづく採用



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

E：環境

■GHG排出量削減

- グループ開示開始（Scope1、2）
- さらなる削減（Scope1、2）
※23年度目標 前年度比70%減
- Scope3算定（23年度～ ※SJC単体）
- カーボンニュートラル実現に向けた移行計画策定・開示

■環境基本方針／グリーン調達方針策定・公表

S：社会

■人的資本強化

- 「変革の原動力となる人と組織の活性化」実現に向けた新人事制度の運用
- 人権対応をマテリアリティ追加

G：ガバナンス

■取締役会の実効性強化

- 資本コストや株価を意識した経営推進

未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

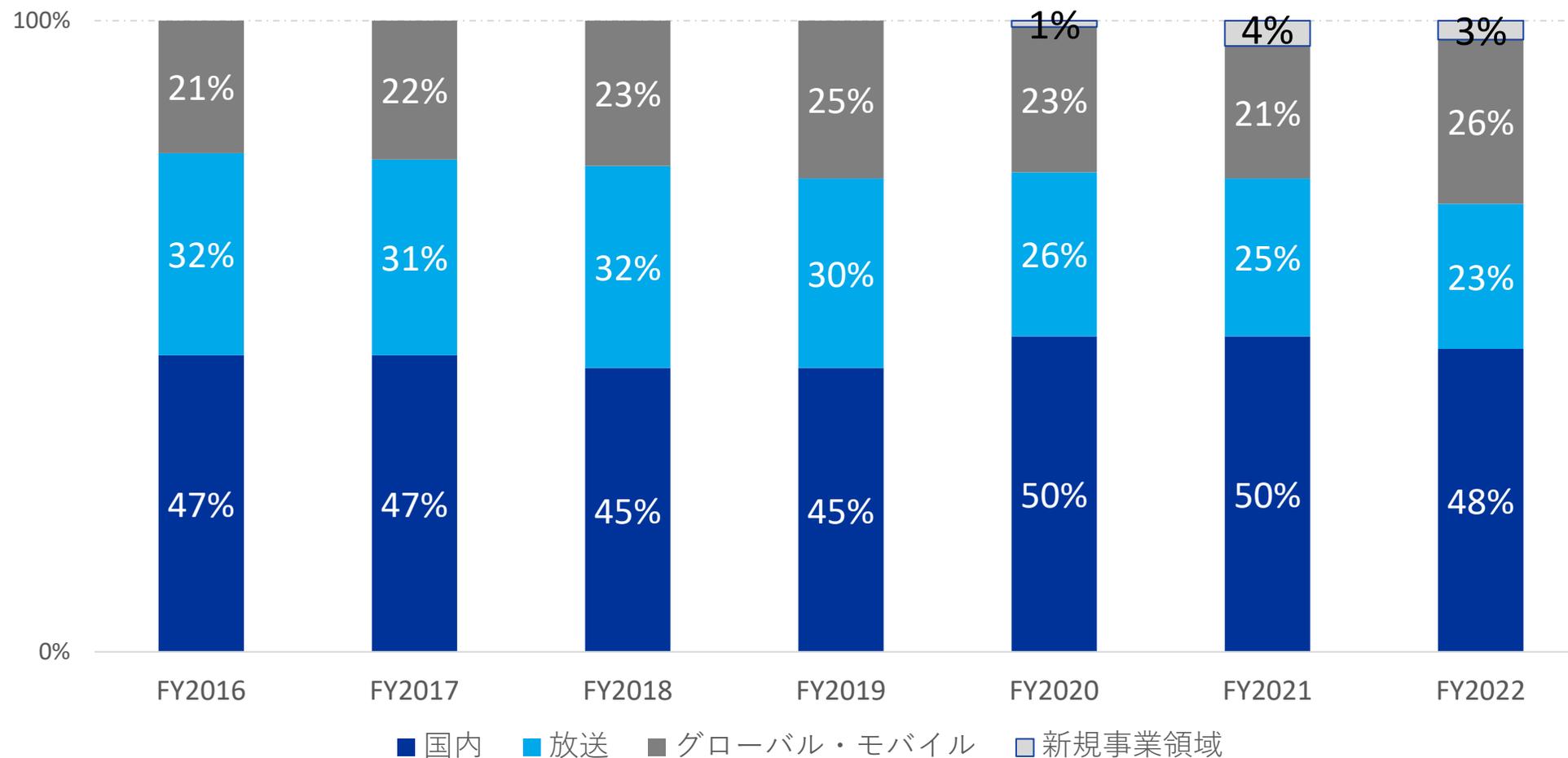
未知を、 価値に。

宇宙実業社

スカパーJ SAT

参考資料

宇宙事業 営業収益構成比



※2016年度、2018年度の防衛省向け通信衛星売却の影響を除く

※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

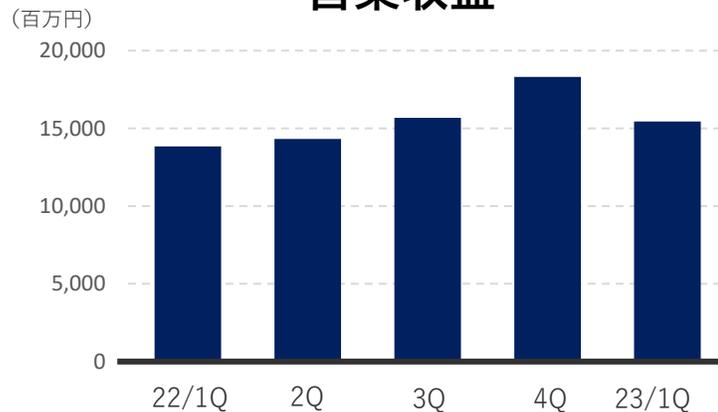
※2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内から新規事業領域に組み替えて再計算

セグメント別四半期業績(2022/1Q - 2023/1Q)

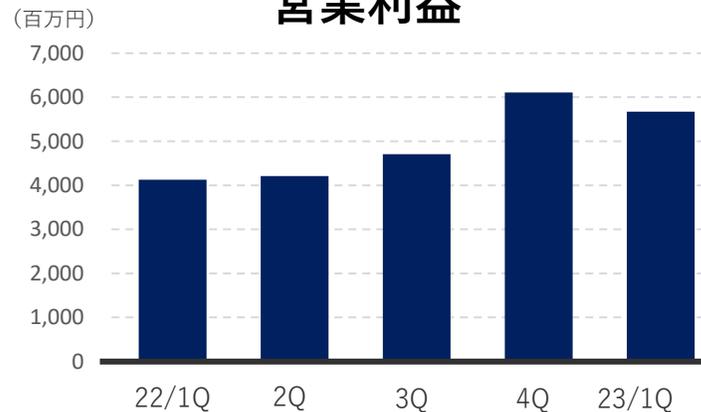
宇宙事業

* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。

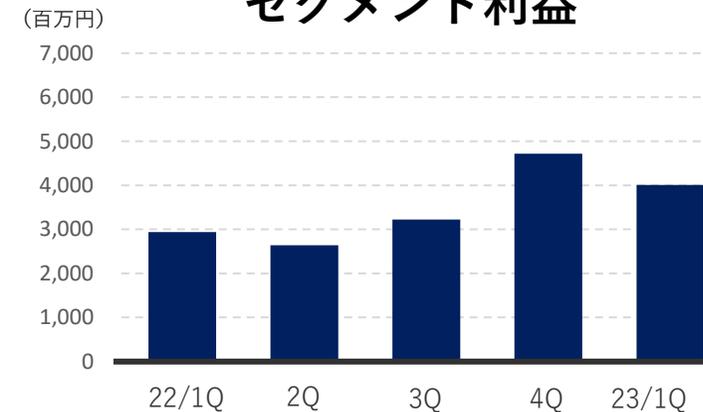
営業収益



営業利益

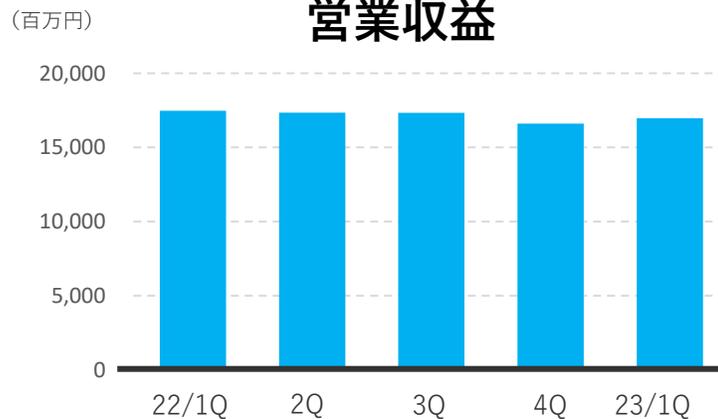


セグメント利益

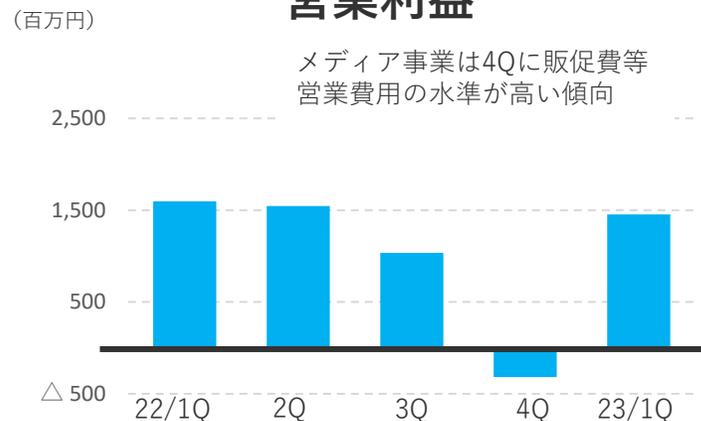


メディア事業

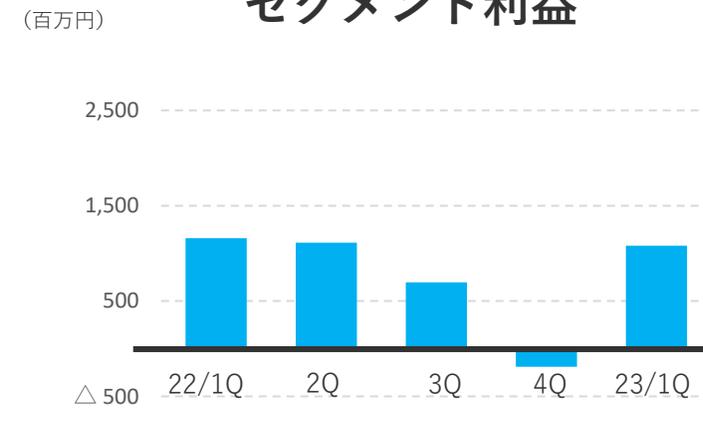
営業収益



営業利益



セグメント利益



セグメント別四半期業績(2022/1Q - 2023/1Q)

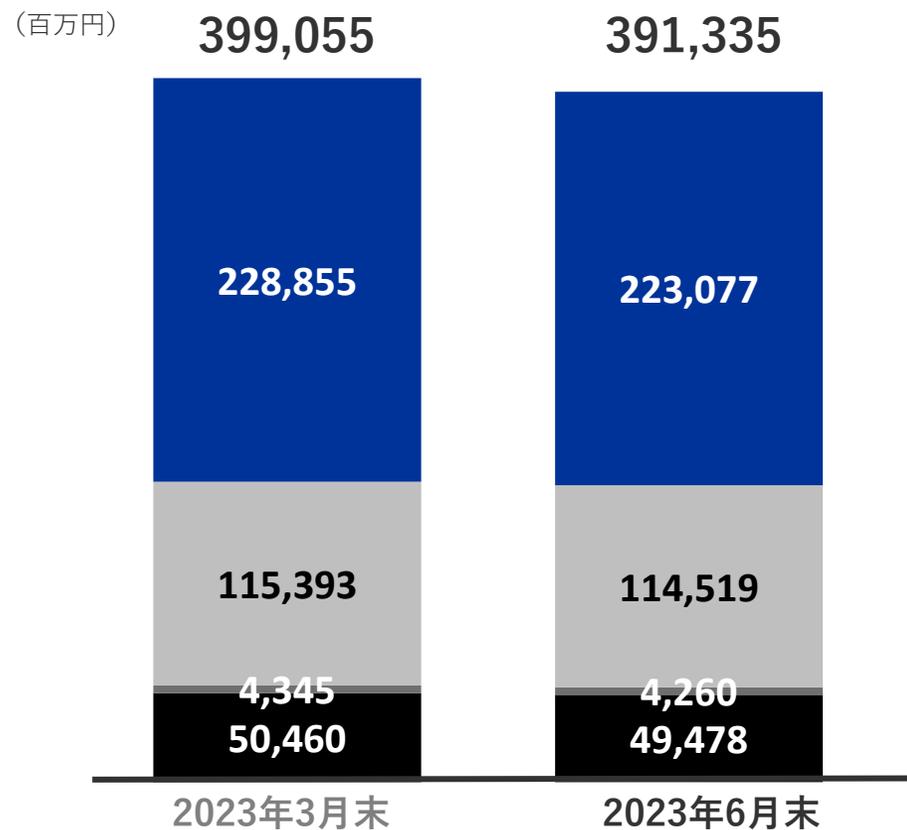
対前年同四半期比較

(百万円)

	2022年度					2023年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
営業収益	28,806	29,190	30,597	32,545	121,139	30,009
宇宙事業	13,841	14,319	15,677	18,314	62,154	15,445
メディア事業	17,463	17,340	17,326	16,601	68,733	16,965
消去又は全社	△2,499	△2,470	△2,406	△2,370	△9,747	△2,401
営業利益	5,551	5,595	5,566	5,609	22,324	6,919
宇宙事業	4,128	4,208	4,708	6,106	19,151	5,670
メディア事業	1,598	1,546	1,036	△318	3,863	1,453
消去又は全社	△175	△158	△178	△177	△690	△203
セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益)	4,033	3,669	3,683	4,423	15,810	4,982
宇宙事業	2,938	2,637	3,221	4,717	13,515	4,008
メディア事業	1,159	1,113	696	△189	2,779	1,081
消去又は全社	△64	△81	△234	△104	△484	△107

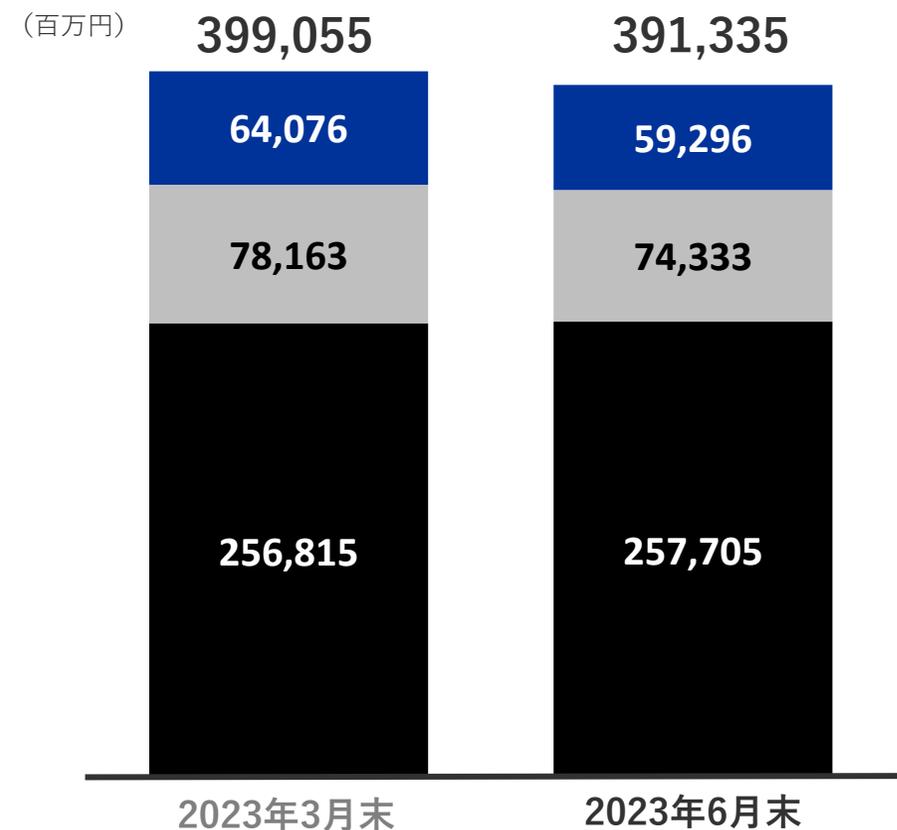
連結貸借対照表

資産



負債・純資産

自己資本比率： 64.0% → 65.5%



流動資産

有形固定資産

無形固定資産

投資その他資産

流動負債

固定負債

純資産

連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2022年度 1Q	2023年度 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,130	3,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,812	△3,402
フリー・キャッシュフロー (*1)	21,318	△389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,403	△7,407
現金及び現金同等物の期末残高(a)	96,094	100,228
有利子負債期末残高 (*2) (b)	78,784	70,590
純有利子負債期末残高 (b) - (a)	△17,310	△29,637

*1. 営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

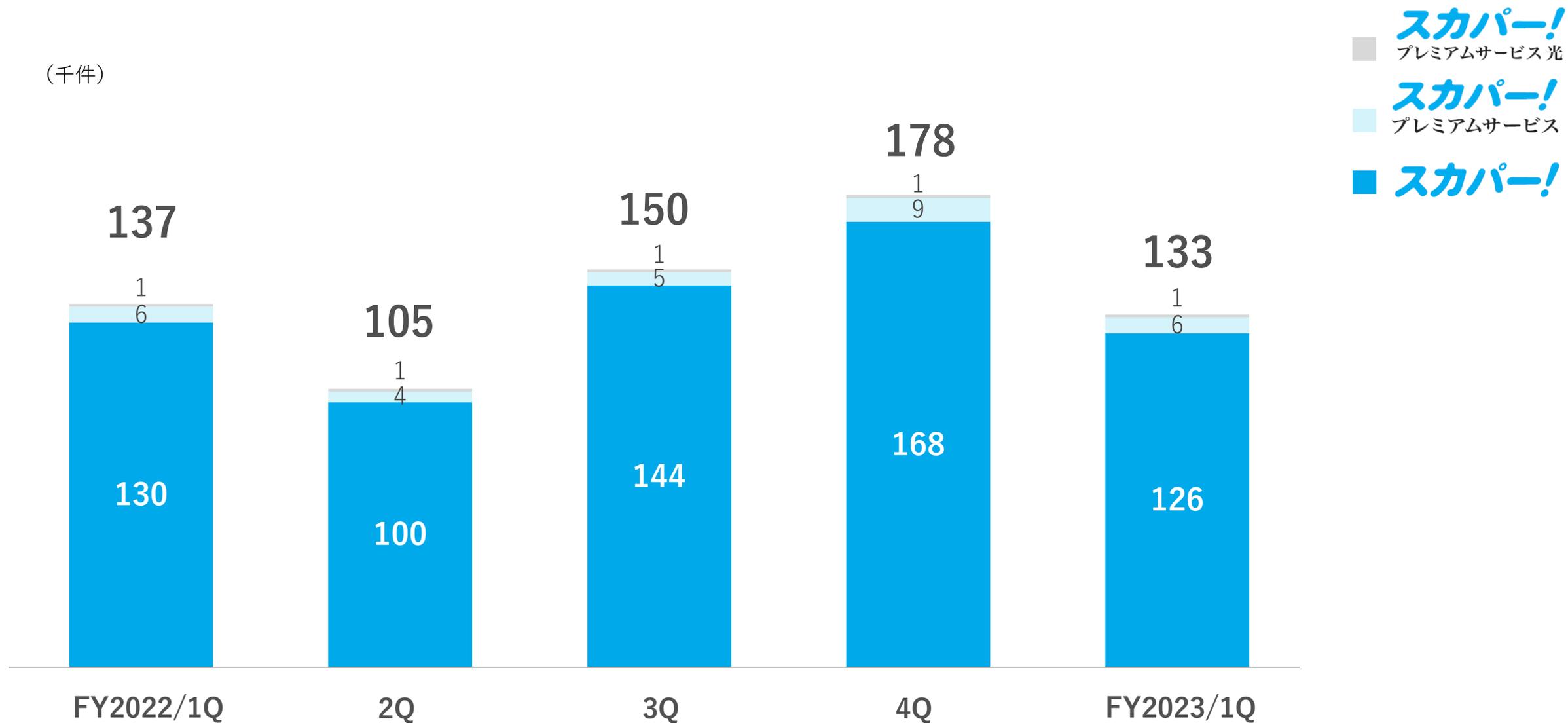
*2. 借入金+無担保社債

主要指標（メディア事業）

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	2023年度 加入目標
新規（IC数：万件）	13.7	13.3	56.4
純増数（IC数：万件）	△2.0	△1.2	△13.3
（スカパー！）	（△0.3）	（0.1）	（△5.4）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△1.5）	（△1.2）	（△7.5）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（△0.1）	（△0.1）	（△0.4）
累計加入件数（IC数：万件）	298.9	286.3	274.2
累計契約者数（契約者数：万件）	237.2	225.0	212.6
光再送信サービス接続世帯数（万件）	256.1	266.1	273.5
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,340	3,352	—
スカパー！プレミアムサービス	3,559	3,528	
スカパー！プレミアムサービス光	5,079	5,016	

新規加入件数の推移（IC数）

(千件)

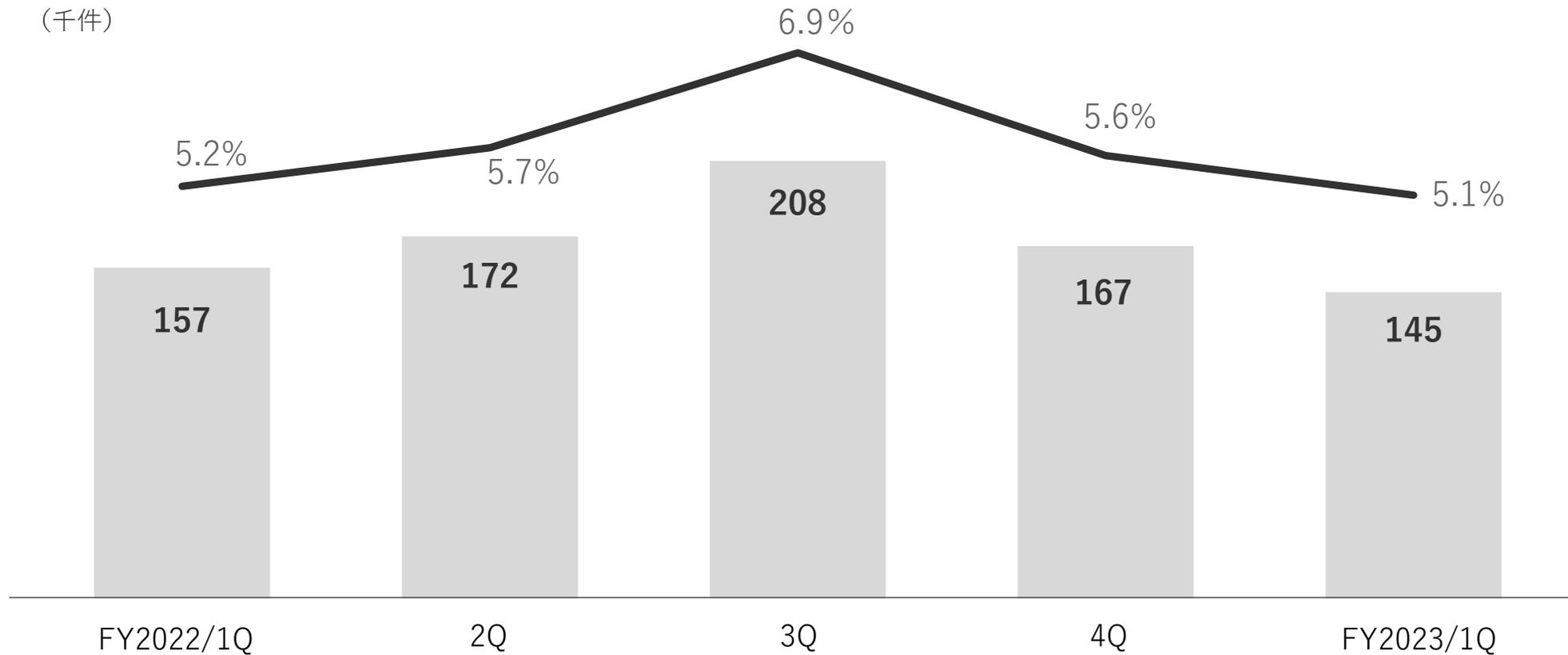


解約率の推移 (IC数)

— 解約率 * (四半期毎)

■ 解約件数 (千件)

注：すべてスカパー！合計

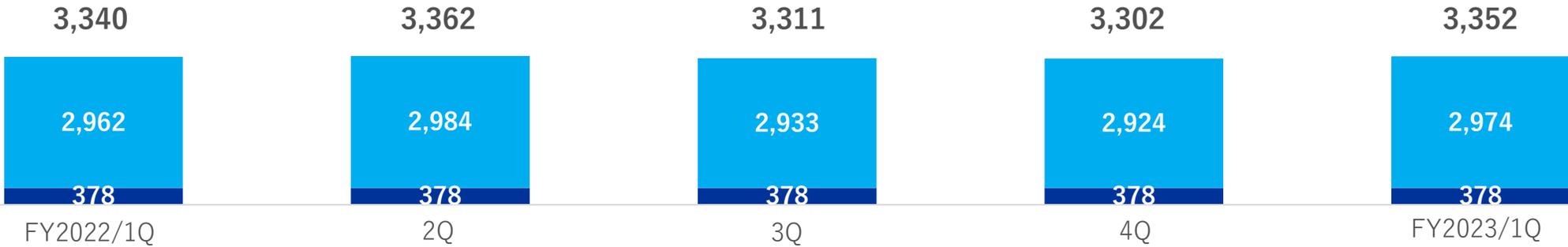


* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

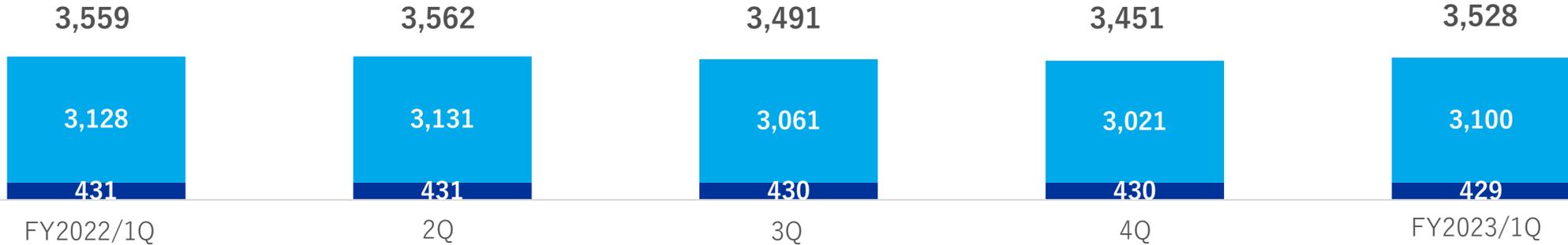
契約者支払単価*1

(円)

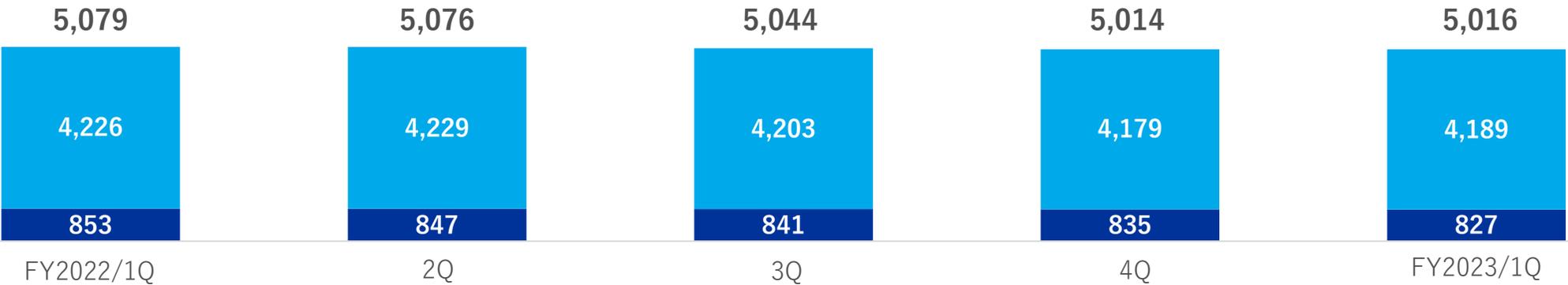
スカパー!



スカパー!
プレミアムサービス



スカパー!
プレミアムサービス光



■ 基本料その他*2

■ 視聴料

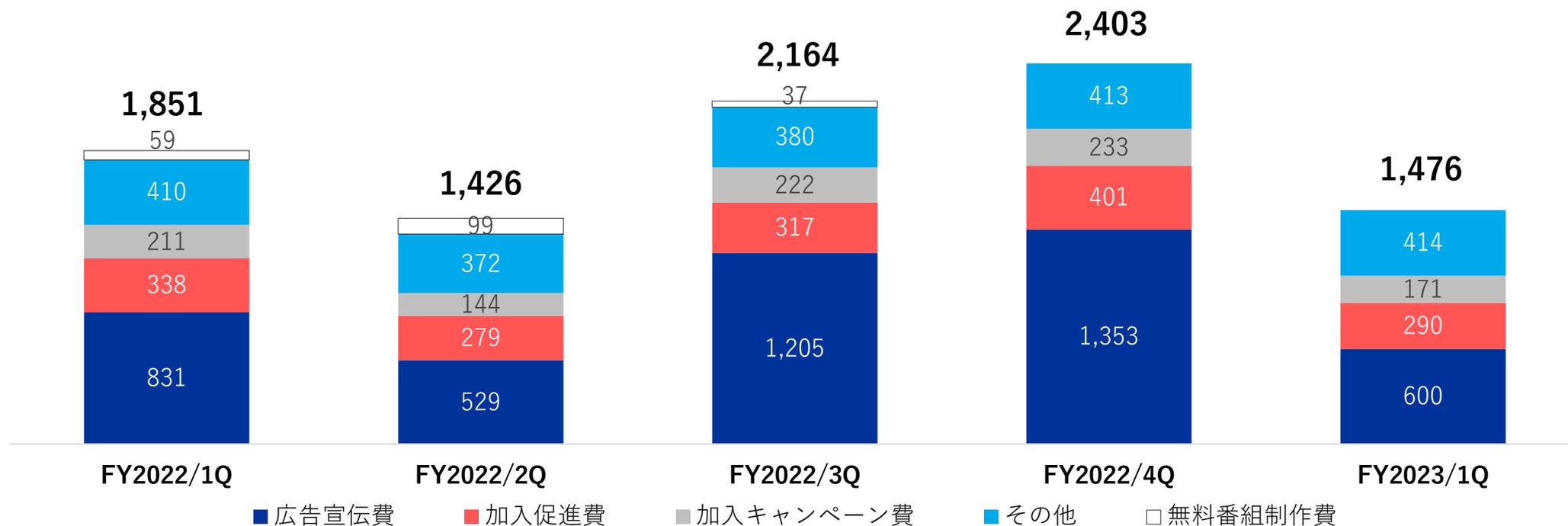
*1 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー!では約30%を業務手数料、スカパー!プレミアムサービス、およびスカパー!プレミアムサービス光では、番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

*2 基本料及びセットトップボックスレンタル料。

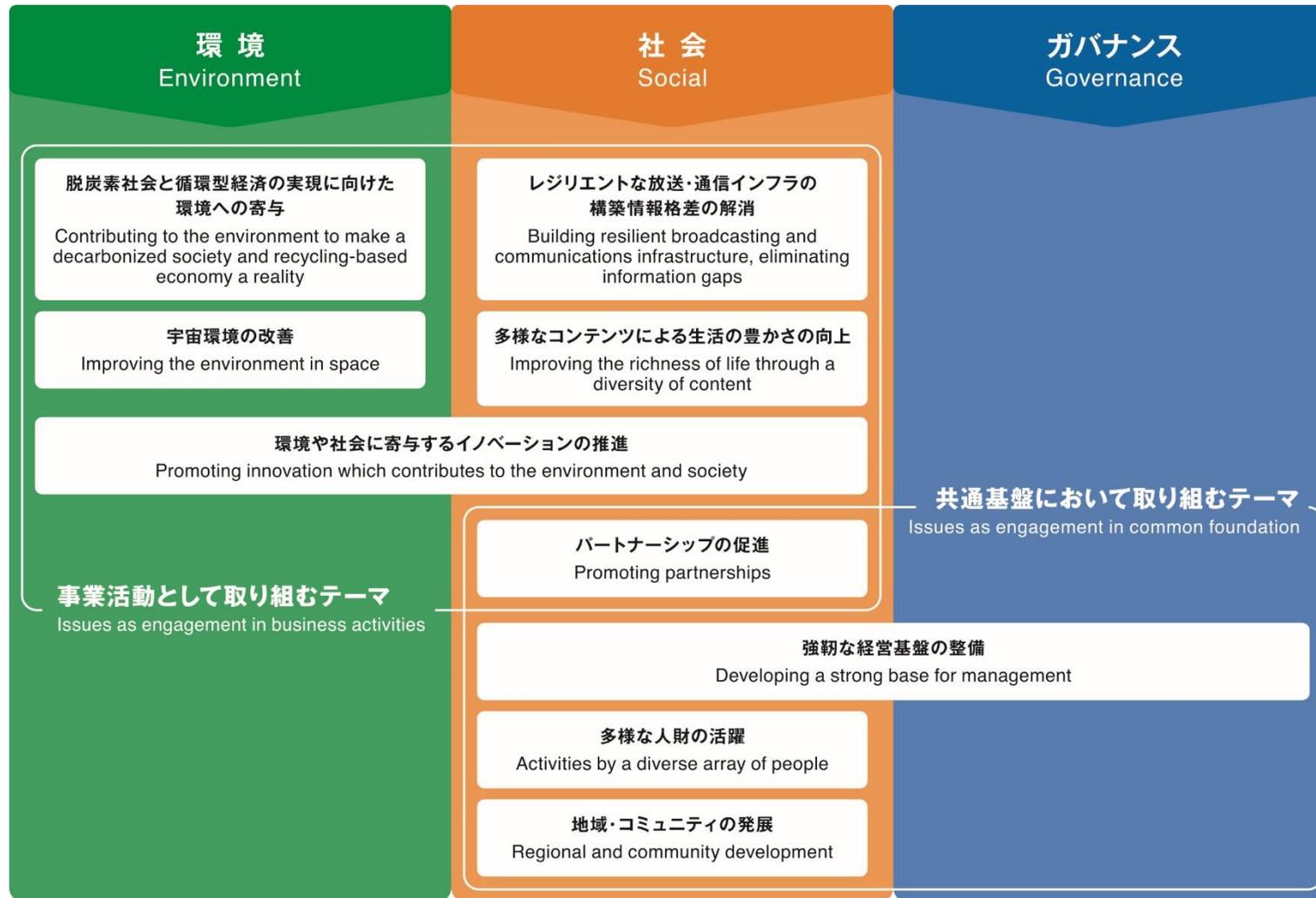
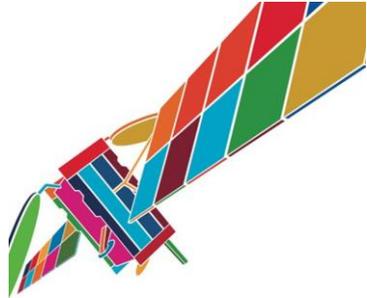
顧客獲得費用総額 (SAC)

(百万円)



- 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用
- 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)、販売インセンティブ
- 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)
- その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等
- 無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用(22年10月末閉局のため、以降は発生なし)

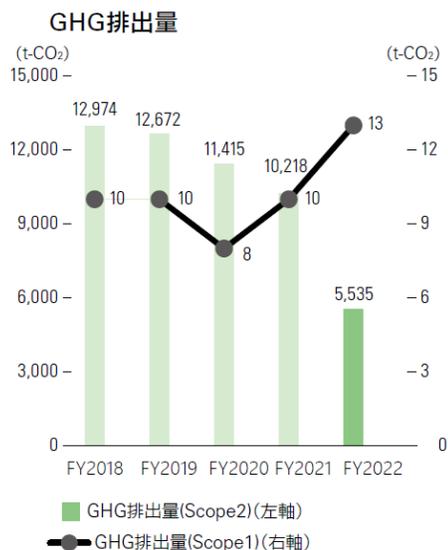
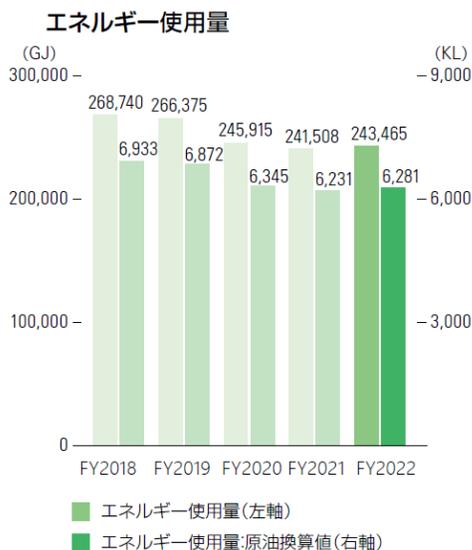
9つの重要課題（マテリアリティ）テーマ



当社グループのサステナビリティ詳細は、こちらをご覧ください。
<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/>



ESGデータ ※スカパーJ S A T(株)単体での集計（廃棄物総排出量を除く）



廃棄物総排出量

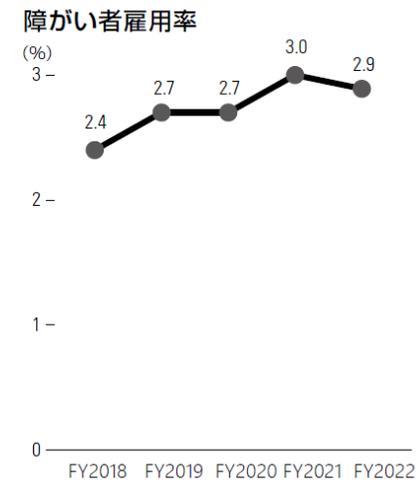
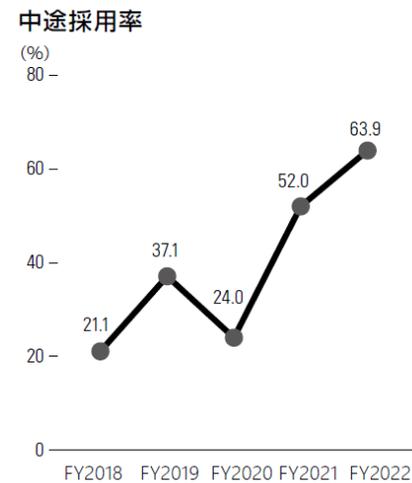
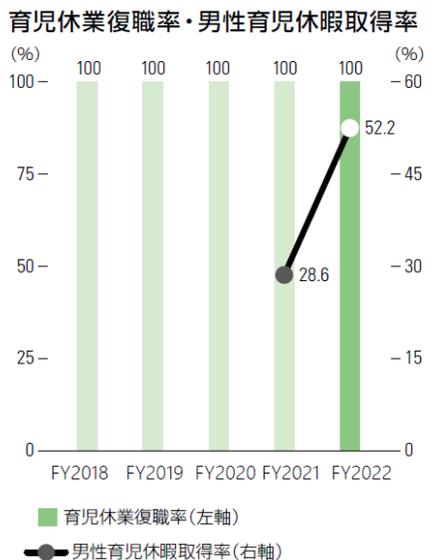
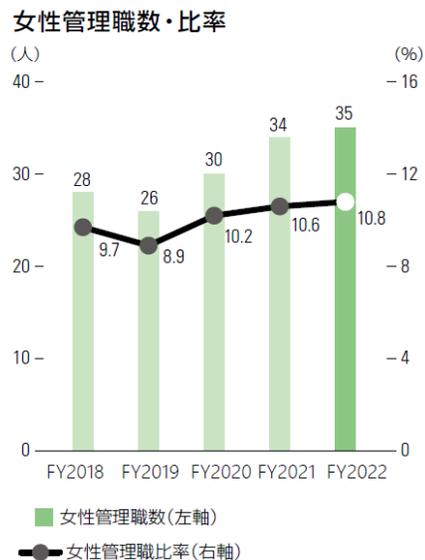
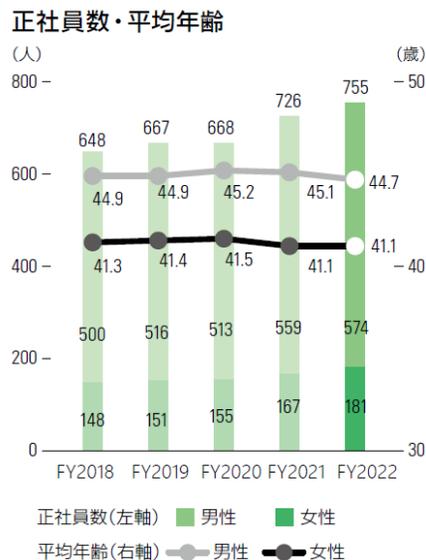
2022年度 (2022/4/1～2023/3/31) (t)

産業廃棄物等総排出量計	94,214
一般廃棄物等総排出量計	43,694
総排出量合計	137,908

(株式会社スカパーJSATホールディングス及び国内連結子会社のうち株式会社スカパー・カスタマーリレーションズを除く一部)

Scope1: 温室効果ガスの排出源からの直接的な大気中への温室効果ガスの排出量
 Scope2: 他者から供給を受けた電気、熱の利用により発生した電気、熱の生成段階でのCO₂排出量 (サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(環境省・経済産業省))
 GJ(ギガジュール:エネルギー量の単位)、t-CO₂(重量トン:エネルギー使用量をCO₂基準で換算して重量表示)

2022年度実績の各ESGデータは
 当社グループサイトにて公開予定しています。
<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/esg/>



Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。
宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、
これらすべての Space が笑顔で満たされるように。
日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、
ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

TEL : 03-5571-1515

FAX : 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

